

令和2年度 公社等経営評価シート  
(対象期間：平成31年4月1日～令和2年3月31日)

概 要	名称	公益社団法人宮崎県森林林業協会		所在地	宮崎市別府町3番1号 宮崎日赤会館2階	
	電話番号	0985-27-7682		ホームページ	<a href="http://www.m-forest-a.or.jp">http://www.m-forest-a.or.jp</a>	
	設立年月日	昭和63年6月1日	代表者	会長 緒嶋雅晃	県所管部・課	環境森林部環境森林課
	総出資額	0千円	県出資額	0千円	県出資比率	—
	設立目的	本県の豊かな森林環境を育成、保全するとともに、木材利用促進の普及啓発や森林保養及び森林環境学習を推進し、森林の育成と木材の生産及び利用が調和あるサイクルで連鎖した木質循環型社会の実現に寄与する。				
特記事項	宮崎県ひなもり台県民ふれあいの森、宮崎県諸県県有林共に学ぶ森、森とのふれあい施設（宮崎県林業技術センター内）の指定管理者の指定を受けている。 (指定期間：平成18～20年度、21～23年度、24～26年度、27～29年度、30～令和2年度)					

内容		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
①公社等のあり方見直し	経営体制の見直し 公益事業の検討	引き続き公益法人として適正な運営を行った。	引き続き公益法人として適正な運営を行った。	引き続き公益法人として適正な運営を行う。	
	②公社等の経営見直し	経営・事業運営改善 自主事業の拡充・強化 事務・事業の円滑化	各種公益事業の着実な推進とともに、自立性を高めるため自主事業の拡充や収益事業の実施に取り組んだ。	各種公益事業の着実な推進とともに、自立性を高めるため自主事業の拡充や収益事業の実施に取り組んだ。	各種公益事業の着実な推進とともに、自立性を高めるため自主事業の拡充や収益事業の実施に取り組む。
		財務改善 経費の節減 会員の拡大	自主事業の継続とともに経費節減や会員の拡大に努めた。さらに、新たに収益事業に取り組むことで更なる財務強化を図った。	自主事業の継続とともに経費節減や会員の拡大に努めた。さらに、元年度も収益事業に取り組むことで更なる財務強化を図った。	自主事業の継続とともに経費節減や会員の拡大に努めた。さらに、2年度も収益事業に取り組む財務強化を図っていく。
組織等適正化	組織・人員体制の検討	公益及び収益事業の適正な執行・管理に向けて、人員増も含めた職員の人員体制の検討を進めた。	公益及び収益事業の適正な執行・管理に向けて、人員増も含めた職員の人員体制の検討を進めた。	公益及び収益事業の適正な執行・管理に向けて、人員増も含めた職員の人員体制の検討を進める。	
③県と公社等の関係見直し	人的支援見直し 県派遣職員数の検討	県からの派遣職員数は平成30年4月1日現在1名。今後も、必要性を踏まえた人的支援体制を検討した。	県からの派遣職員数は平成31年4月1日現在1名。今後も、必要性を踏まえた人的支援体制を検討した。	県からの派遣職員数は令和2年4月1日現在1名。今後も、必要性を踏まえた人的支援体制を検討する。	
	財政支出見直し 委託事業の内容検討	財政支出を減らすため、引き続き委託事業の内容を検討した。	財政支出を減らすため、引き続き委託事業の内容を検討した。	財政支出を減らすため、引き続き委託事業の内容を検討する。	
④情報公開推進	ホームページでの情報公開の充実	引き続き、法人情報、財務情報、主催事業等ホームページでの情報公開を適宜行い、充実を図った。	引き続き、法人情報、財務情報、主催事業等ホームページでの情報公開を適宜行い、充実を図った。	引き続き、法人情報、財務情報、主催事業等ホームページでの情報公開を適宜行い、充実を図る。	

人的支援	(人)	令和元年度				令和2年度			
		合計	県職員	県退職者	左記以外の者	合計	県職員	県退職者	左記以外の者
役員数		13	0	6	7	14	0	5	9
常勤		1	0	1	0	1	0	1	0
非常勤		12	0	5	7	13	0	4	9
職員数		8	1	2	5	9	1	2	6
財政支出等	(千円)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	(千円)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	県委託料	112,997	117,065	124,310	県借入金残高	0	0	0	
	県補助金	436	436	456	県の損失補償契約等に基づく債務残高	0	0	0	
	県交付金・負担金・出資金	1,094	552	100	県職員人件費(県支給分)	6,328	6,229	6,222	
その他の県からの支援等									

主な県財政支出の内容	事業名	事業内容	令和元年度	令和2年度	種別
			決算額(千円)	予算額(千円)	
①	宮崎県ひなもり台県民ふれあいの森管理運営受託事業	ひなもり台県民ふれあいの森の管理運営	29,313	29,313	指定管理料
②	森とのふれあい施設管理運営費	森とのふれあい施設管理運営費	26,787	26,787	指定管理料
③	林業技術センター試験地管理及び試験研究等業務委託事業	林業技術センター試験地管理及び試験研究等業務委託事業	18,822	19,030	委託料
④	県営林管理高度化等推進事業	県営林境界確認権利関係調査、分収造林契約延長に関する意向調査等	15,300	15,787	委託料
⑤	県営林経営資源調査事業	県営林の資源量や搬出方法等の調査	11,147	11,700	委託料

実施事業	①	ノカイドウ群落保存管理事業	②	保安林等整備事業	
	③	育種母樹林管理事業	④	森林資源調査事業	
	⑤	入会林野等整備推進事業			
	⑥	県営林管理システム高度化等推進事業			
	⑦	森林整備に係る支援事業	⑧	S G E C 認証制度推進事業	
	⑨	木材需要拡大推進事業	⑩	指定管理事業	
	⑪	森林空間の保全管理事業	⑫	政策提言セミナーの開催等	
	⑬	インターネット情報提供事業	⑭	林業改良普及事業	
	⑮	県林業技術センターにおける試験地の管理及び試験研究に関する業務			

活動指標	指標名	算式(単位)	令和元年度			令和2年度	令和3年度
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	目標値
①	指定管理施設の主催イベント数	(件)	50	49	98.0%	45	50
②	ひなもりオートキャンプ場の利用者数	(人)	13,000	18,104	139.3%	12,000	12,000
③	研修寮利用者数	(人)	650	774	119.1%	650	650

指標の設定に関する留意事項  
 令和2年度の指定管理施設の主催イベント数については、新型コロナウイルス感染症の影響が予想されるので、目標値を下げている。次に、ひなもりオートキャンプ場利用者数については、すでに新型コロナウイルス感染症対策のため5月1日から10日の閉園、5月30日までの県外者利用自粛要請で影響を受けている。今後も先行きが不透明であるため、目標値を下げている。研修寮利用者数についても3密対策のため効率的な使用が難しいため、目標値は、元年度と同様としている。

財務状況	正味財産増減計算書 (千円)			貸借対照表 (千円)			
	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	182,734	168,922	183,870	資産	65,489	67,811	75,429
	173,449	167,711	178,413	流動資産	64,849	66,379	68,295
	9,285	1,211	5,457	固定資産	640	1,432	7,134
	0	0	0	負債	17,402	18,738	21,247
	0	0	0	流動負債	17,402	18,738	21,247
	0	0	0	固定負債	0	0	0
	9,285	1,211	5,457	正味財産	48,087	49,073	54,182
	21	225	348	指定正味財産	0	0	0
	9,264	986	5,108	(うち基本財産への充当額)	0	0	0
	38,823	48,087	49,073	(うち特定資産への充当額)	0	0	0
	48,087	49,073	54,182	一般正味財産	48,087	49,073	54,182
	0	0	0	(うち基本財産への充当額)	0	0	0
	0	0	0	(うち特定資産への充当額)	0	0	0
	0	0	0				
	48,087	49,073	54,182				

※千円未満を四捨五入して表示しているため、合計の金額と一致しない場合があります。

財務指標	指標名	算式(単位)	令和元年度			令和2年度	令和3年度
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	目標値
①	職員一人当たりの収入額	総収入/職員数(千円)	15,000.0	22,983.8	153.2%	15,000.0	15,000.0
	令和元年度 実績値の算式	183,870千円 / 8人					
②	自主財源比率	(指定管理料+県以外の委託料収入+自主財源) / 総収入	65.0	64.4	99.1%	65.0	65.0
	令和元年度 実績値の算式	(58,733千円+15,154千円+44,450千円) / 183,870千円					
③							
	令和元年度 実績値の算式						

指標の設定に関する留意事項

直近の県監査の状況

総合評価	公社等 自己評価	公益社団法人の認定を受け7年目で、公益法人としての適正な運営に努め、各種の公益目的事業を推進してきた。令和元年度は、森とのふれあい施設では、森とのふれあい祭りなどのイベントを行うなど利用者数の確保に努め多数の方が利用した。ひなもり台オートキャンプ場では、施設の魅力アップに努めたこと、秋冬の利用者が伸びたことなどにより、オートキャンプ場利用料収入は過去最高となった。財務指標の職員一人あたり収入額は、目標値を大きく上回り、自主財源比率については、目標値を僅かに下回った。 今後も適正な法人運営を行い公益目的事業の着実な推進に努めていくとともに、自主事業の拡大や収益事業の実施により、財政基盤の強化を図り団体としての自立性を高めていきたい。				県所管部課 二次評価	活動指標については、悪天候やコロナウイルス感染症拡大防止のためイベント回数が少なくなったものの、森とのふれあい施設では、前年度より多くの参加者数増加となっている。また、ひなもり台オートキャンプ場の利用者は、SNSなどを活用し、施設の魅力アップに努めたことから、過去最高の利用者数であったことが評価できる。 財務内容については、財務指標での自主財源比率が目標値に若干届かなかったものの、ひなもり台県民ふれあいの森などの3つの公共施設について、平成30年度より3年間、指定管理者の指定を受けていることから、安定した収支となっている。 今後も引き続き、森林・林業に関する公益法人として、適正な活動に努めるとともに、県からの自立性を高めるため、自主財源の強化が必要である。													
	評価 (A, 良好, B ほぼ良好, C やや課題あり, D 課題多い)	改革工程 A	活動内容 B	財務内容 B	組織運営 A	評価 (A, 良好, B ほぼ良好, C やや課題あり, D 課題多い)	改革工程 A	活動内容 A	財務内容 B	組織運営 A										
	目標 達成度	<table border="1" style="display: none;"> <caption>目標達成度 (目標値を100%とする)</caption> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>達成率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>活動指標①</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>活動指標②</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td>活動指標③</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>財務指標①</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td>財務指標②</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>財務指標③</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>				指標	達成率 (%)	活動指標①	100	活動指標②	150	活動指標③	120	財務指標①	150	財務指標②	100	財務指標③	100	公社等改革 推進委員会 三次評価
指標	達成率 (%)																			
活動指標①	100																			
活動指標②	150																			
活動指標③	120																			
財務指標①	150																			
財務指標②	100																			
財務指標③	100																			